31【P1】Ｉ-010

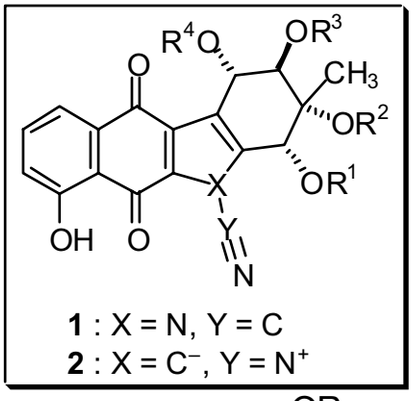
Kinamycin 系抗生物質の立体選択的全合成研究

○熊本 卓哉[1], 土屋 英良[1], 石川 勉[1]([1]千葉大院薬)

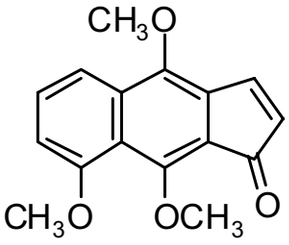
【目的】*Streptomyces murayamaensis* の培養液から単離された kinamycin 類は，各種スペクトルデータなどによりその構造が **1** から **2** へと訂正された．本研究は，**3** と **4** との Diels-Alder 反応，続くＤ環上への立体選択的酸素官能基の導入を key steps とする全合成により，kinamycin 類の構造を決定することを目的とする．

【実験・結果】 Diels-Alder 付加体 **5** [1)] から５段階で誘導される **6** の３位ケトンの還元は．所望とは逆のα体を与えた．そこで **6** を脱保護して得られる **7** の １位ヒドロキシ基の立体を利用した Me4NBH(OAc)3 還元を検討したところ，選択的にβ体 **8** を与えた．このものの相対配置は，相当するアセチル体 **9** のＸ線結晶構造解析より決定した．

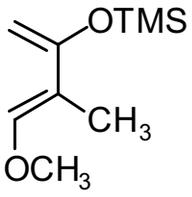
1) Y. Kitani *eta al.*, *Helv. Chim. Acta*, **85**, 1186 (2002).



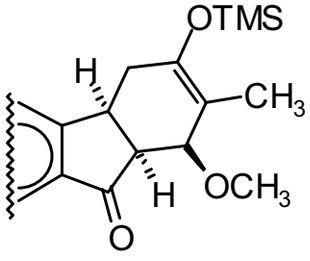
1 : X = N, Y = C
2 : X = C⁻, Y = N⁺



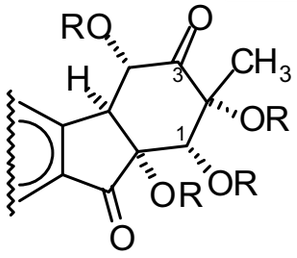
3



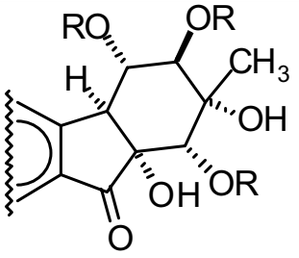
4



5



6 : R = TMS
7 : R = H



8 : R = H
9 : R = Ac